

同志社女子大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 博士課程(前期) 履修モデル

1. 専攻の概要

助産学実践分野では、「共通科目」の履修をとおして、看護学研究や実践を支える基礎的理論、研究手法を修得し、研究倫理に関する理解を深めるとともに、「専門科目」である「助産学実践科目」のうち、助産師の国家試験受験資格を得るための保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める科目（基盤科目）を履修したうえで、周産期での高度な実践能力を修得するための助産の応用・発展となる科目（発展科目）を履修する。そこで明確になった研究課題について、研究計画の立案からデータの収集、解析等を経て、「特別研究」で課題研究論文を作成する。

2) 臨床での経験を活かし、助産学実践分野における学修、実践を通して見出した課題を探究するとともに、助産師の資格取得を目指し、長期履修制度を活用した学生の場合

(1) 入学までのプロセス

大学看護学部で臨地実習で助産師の仕事に興味を感じたが、A大学病院に看護師として就職した。配属がNICUとなり3年目を迎え、親子関係や家族の再構築促進への支援に限界を感じた。助産師の資格取得と共に妊娠期からの家族形成について深め、臨床に生かしていきたいと考え、今の職場で非常勤での勤務を続けながら、3年間の長期履修制度を活用して大学院に進学した。

(2) 科目選択

①共通科目（必修8単位、選択4単位 計12単位）

看護学研究特論、看護研究方法論、理論看護特論、看護倫理特論、看護教育特論、看護管理特論

②-1 看護学研究科目（選択4単位）

ウイメンズヘルスト論Ⅰ、ウイメンズヘルスト論Ⅱ

②-2 助産学実践科目（必修41単位）

基盤科目（31単位）

助産学概論、リプロダクティブヘルス論、ペアレンティング援助論、妊娠期助産診断技術学、分娩期助産診断技術学、産褥・新生児期助産診断技術学、助産診断技術学演習、地域母子保健論、助産マネジメント論、助産学実習Ⅰ、助産学実習Ⅱ、助産学実習Ⅲ、リプロダクティブヘルス演習、高次助産診断技術学演習

発展科目（10単位）

赤ちゃん学特論、国際母子保健論、助産学実習Ⅳ、助産学実習Ⅴ、統合ヘルスケア論、遺伝カウンセリング論

③特別研究（必修4単位）

課題研究

(3) 修士論文テーマ 「助産師による胎児期からの親子の愛着形成」

(4) 修了後の進路

助産師国家試験に合格。助産師として、A大学病院の周産期センターへ再就職する。NICUでの経験を活かしながら助産師として妊娠期からの母子ケアでの実践力を発揮し、リーダーとしての成長を期待される。

科目区分			授業科目の名称	配当年次	履修年次・単位数		
					1年次	2年次	3年次
共通科目			看護学研究特論	1春	2		
			看護研究方法論	1秋	2		
			理論看護特論	1春	2		
			看護倫理特論	1春	2		
			科学英語論文クリティーク	1春			
			看護教育特論	1春	2		
			看護管理特論	1秋	2		
			健康科学特論	1春			
専門科目	看護学研究科目	臨床看護学領域	成人看護学特論Ⅰ	1春			
			成人看護学特論Ⅱ	1秋			
			ウイメンズヘルスト論Ⅰ	1春	2		
			ウイメンズヘルスト論Ⅱ	1秋	2		
		広域看護学領域	高齢者・在宅看護学特論Ⅰ	1春			
			高齢者・在宅看護学特論Ⅱ	1秋			
			公衆衛生看護学特論Ⅰ	1春			
			公衆衛生看護学特論Ⅱ	1秋			
			看護学演習	1秋			
	助産学実践科目	基盤科目	助産学概論	1春	2		
			リプロダクティブヘルス論	1春	2		
			ペアレンディング援助論	1春	2		
			妊娠期助産診断技術学	1春	2		
			分娩期助産診断技術学	1秋	2		
			産褥・新生児期助産診断技術学	1春	2		
			助産診断技術学演習	1通	2		
			地域母子保健論	1秋	2		
			助産マネジメント論	1秋	2		
			助産学実習Ⅰ	1春	2		
			助産学実習Ⅱ	1秋	2		
			助産学実習Ⅲ	2秋		7	
			リプロダクティブヘルス演習	2春		1	
			高次助産診断技術学演習	2通		1	
		発展科目	赤ちゃん学特論	1秋		2	
			国際母子保健論	1秋		1	
			助産学実習Ⅳ	2春		2	
			助産学実習Ⅴ	2秋		2	
			総合ヘルスケア論	1秋	2		
			遺伝カウンセリング論	1秋		1	
特別研究			課題研究	2通			4
合計					61		